

ステークホルダーからのご意見、ご要望等への対応による改善事例

佐賀大学では、よりよい大学運営や教育内容・方法の改善等に役立てるために、本学のステークホルダー（学生、卒業（修了）生、新入生、ご家族、教職員、学外の各委員及び関係者、地元企業の皆様、地域の皆様など）からさまざまなご意見・ご要望等をいただきました。それらへの対応状況の中から具体的な改善事例をピックアップして公開いたします。今後とも、地域とともに発展しつづける大学であるために、いただいたご意見等に対し改善に向けて努力してまいります。

【令和4年度意見聴取（令和4年度 意見対応） 令和5年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R5.3.31）	改善年度
7	佐賀県庁 （佐賀県・佐賀大学連携調整会議）	TSUNAGIプロジェクト	令和元年より毎年実施している佐賀県・佐賀大学連携調整会議において、本学の取組等の情報共有を行ってきた。情報共有した本学の取組の成果が認められ、より強力に佐賀県内の地域課題の解決や県内の産業・学術の振興を図ることになった。	・佐賀県内の地域課題の解決や県内の産業・学術の振興のため、令和4年度より佐賀県による研究支援事業「TSUNAGIプロジェクト」がスタートした。	・令和4年度は、19件の事業が採択されている。 ・「TSUNAGIプロジェクト」が継続的に実施されるために、佐賀県・佐賀大学連携調整会議等で本学の取組について情報共有を続けていく。	R4
8①	附属図書館利用者アンケート（490名）	附属図書館本館利用者アンケート	・気兼ねなく声を出してグループワークなどができる学習スペースを作ってほしい。	本館4階旧事務室を改修し学習スペースを整備することとした。	・令和4年10月3日、本館4階旧事務室を改修して、新たにグループ学習やディスカッションができる「多目的学習スペース」の整備を行った。	R4
9	学部後援会評議員 （学生の保護者）	学部後援会評議員会	新型コロナウイルス感染症が流行している中、学生の課外活動等が制限されたり、就職活動もオンラインで行われたりと後援会費による学生支援・就職支援活動等ができていないため、もっと学生のために有効活用できないか。	後援会による講演会を実施することとした。	・学部長から、普段の授業では招待できない著名な作家等による講演会開催を提案し、了承されたため、世界的に活躍されている美術家（川俣 正氏）による講演会を令和5年1月20日（金）に実施した。また、アートに関する事業活動家（深井 桂子氏）による講演会を令和5年2月18日（土）に実施した。	R4

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R5.3.31）	改善年度
2	佐賀大学広報誌「かちがらす」第45号読者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第45号読者アンケート（広報誌について）	〇意見・感想（要望） ・佐賀の名物などのプレゼントがあったらおもしろいと思います。	・SNSと連動したプレゼント企画を検討します。	・本学マスコットキャラクター「カッチーくん」をモチーフとしたオリジナルグッズ（ピンバッジ、マスキングテープ）を制作し、広報誌上で読者プレゼントとして実施しています。	R4
6	委員（学外委員も含む）	令和3年第1回基金管理委員会	佐賀大学基金HPの活動報告は寄附総額に関する報告のみで、寄附者の増加につながると思えません。どのように活用されたかは、佐賀大学基金NEWSに記載されていますが、これは寄附者へ配信するなど積極的に周知されているのでしょうか。継続的な寄附者の増加を目指して、基金HPのトップページに、「寄附をいただいた方へ」という囲みを作成し、寄附者への謝意や情報をまとめて提供、周知するなどしても良いのではないのでしょうか。	新たな寄附金獲得のためには、これまでの寄附金をどのように有効活用したのかというアピールが重要と考えます。佐賀大学基金NEWSのNo.3には、基金による経済的困窮学生への支援の実績について紹介しており、基金HPにアップするとともに、寄附者へお礼状とともに送付することとした。また、寄附者への謝意や情報をまとめて提供、周知するためのしくみとして新たに基金HPのトップページに「寄附をいただいた方へ」を設け、基金HPの充実に取り組みすることとした。	・令和4年度は、佐賀大学基金NEWSのNo.4では、令和2～3年度に実施した修学支援基金による学生支援の実績を紹介し、No.5では、課外活動支援基金による学生支援及び医学部コト部の活動を紹介するなど、基金による学生支援を記事としてとりまとめて発行し、寄附者へお礼状とともに送付した。 ・基金HPのトップページに「寄附をいただいた方へ」を新たに設けました。 さらに、基金HPにおいて、美術館賞金の受入状況における表示の見直し、院内保育事業基金芳名帳の新設、寄附者からのメッセージの更新機能の追加等の改修を行った。	R4
8②	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	相談・助言のための体制がそれぞれあることを知らなかったのでもう少し発信があると利用できたと思う。	進路相談（キャリアセンター）、健康に関する相談（保健管理センター）、各種ハラスメントに関する相談（ハラスメント相談員）について周知を強化する。	進路相談（キャリアセンター）、健康に関する相談（保健管理センター）、各種ハラスメントに関する相談（ハラスメント相談員）について周知を行った。特に、進路相談に関して、令和3年度にキャリアセンターホームページのリニューアルを行った。「今週のトピックス」「イベントカレンダー」による直近イベントの案内等で就職活動イベントの情報が伝わりやすくなった。また、メンバー間でファイル共有等が容易に行えるグループウェア（キャリアセンター Teams）は学生が集まるリフレッシュルーム等のデジタルサイネージで周知動画を流し、キャリアセンターの「キャリアラジ」動画配信によって周知され順調に参加者が増えた。令和5年2月1日現在で1、516名の登録があり、情報発信を多数の学生が受け取っている。	R4
12	佐賀県教育委員会	佐賀大学教育学部、大学院学校教育学研究科及び佐賀県教育委員会との連携・協力協議会	家庭科教育の内容や指導方法に熟練した教師が育ちに近く、基礎的な理解や技能を持ち合わせないままに指導を行っている状況がある。児童生徒の安全や衛生的な学習環境を確保するために、現在の教師の指導状況を改善する必要がある。	小学校で初めて家庭科を担当する教員を対象に、佐賀大学教育学部家庭科教員と佐賀県教育委員会が協働で研修を実施し、実験・実習を安全かつ衛生的に行うための基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、実践的指導力向上を図ることを目的とし、家庭科指導力向上研修事業を実施する。	・家庭科指導力向上研修事業として佐賀大学教育学部家庭科教員と佐賀県教育委員会が協働で衣生活、食生活各分野の小学校新任家庭科担当教諭研修を6月に実施した（衣生活分野に54名、食生活分野に54名が受講）。受講者の研修評価は高く、児童の安全や衛生的な環境を確保した家庭科の授業実践にとって有益な研修となった。	R4
14	第4期（令和2年度）修了生及び修了生の勤務先管理職	佐賀大学大学院学校教育学研究科（教職大学院）第4期修了生追跡調査	①学級経営上の諸課題への具体的な対応方法に関する指導のニーズが多い。 ②卒業支援を望む声が多い。	①カリキュラムの改善を行う。 ②教育研究活動の改善を検討するFDの実施を検討する。	①について ・関連する授業、例えば「授業づくりと学級経営の基礎と課題」「教職キャリアデザインの基礎と課題」「学級・学校危機管理論」の中で学級経営に関する指導を従来より多く取り入れました。 ・みなし実務家教員が、実際の学級経営上の課題を提示しその対応策を検討する授業外指導を実施しました。 ②について ・令和4年9月27日に第5期修了生対象の「修了生懇談会」を実施しました。 ・アンケート調査結果をどう読み、どう改善につなげるかをテーマとした教職大学院独自のFDを開催しました。（令和4年8月25日） ・調査結果を分析した報告書は令和4年3月刊行の「佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要」第6巻に掲載しました。	R4

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R5.3.31）	改善年度
15	佐賀大学教育学部附属学校園地域連絡協議会委員	令和3年度附属学校園地域連絡協議会	①附属幼稚園が取り組まれている発達障がい傾向の子供への対応については、市内の幼稚園・保育所等での対応や悩んでいる保護者への情報提供として大いに参考になるので園や家庭での具体的なかかわり方などを紹介発信してほしい。 ②急増する特別支援学級について、教員不足、指導力不足が喫緊の課題。専門的な知識や技能が十分ではない教員も多い。特別支援教育に実践力の育成は急務。	①情報発信を充実する。 ②カリキュラムの改善を行う。	①について ・附属幼稚園が開設開催している「子育て相談室」や「子育て支援ワークショップ」、「子育てサロン」などを活用して発達障害傾向を感じられている未就園・未就学児の保護者が気軽に相談できる場を提供しています。園のHP案内掲載に加えて未就園児の体験保育時やフリーペーパーで紹介するなど広く情報の発信を行いました。 ②について ・教育学部令和5年度入学者から「特別支援教育」及び「通常学級における発達障害児」に対応できる実践力を養う授業科目「LD等学習指導法」を、既存の必修科目に加えて新設しました。教職実践演習の特別な支援を要する児童・生徒に関する演習の改善方針を検討し、教育実習委員会においては、小・中学校教育実習の事前・事後指導に盛り込むこととしました。教職大学院においては、既存の特別支援教育の必修授業科目について「特別支援教育」及び「通常学級における発達障害児」に対応できる実践力を養う内容を増設しました。附属学校園での主免教育実習、併免教育実習、加えて教育ボランティア活動（主に幼・特支）への参加を通じて、連携教育や特別支援教育への知見と実践力を養成します。	R4
16	学生及び教職員（本庄及び有田キャンパスにおける女子トイレ及び多目的トイレを使う可能性がある者）	学生アンケート テーマ「生理用品の無償配布」	令和3年11月から令和4年3月までの予定で試行的に実施された生理用品の無償配布を継続してほしい。	令和4年4月以降も公益社団法人Civic Force様の協力のもと継続的に配布を行っている。	対応済み	R4
17	附属病院に勤務する職員	医学部附属病院職員満足度調査	賃金が安い、休暇が取りづらい、仕事が多すぎる等	職員の皆さんの仕事に関する率直な思いや意見・要望をできる限り正確に把握し、少しでも働きやすい職場環境作りのために改善活動を行い、魅力ある職場づくりを目指す。	・働きやすい職場環境作りを目指し、勤務時間帯の見直し、出生時育児休業の新設並びに看護職員及びコメディカル等の職員の処遇改善を行いました。 ・看護職員等処遇改善事業（補助金）を原資とし、看護職員等（看護師・助産師）のほか、看護補助者、コメディカル等に対し、令和4年2月～9月の給与において、一律月額3,000円の処遇改善を行った。令和4年10月の給与からは、病院収入（看護職員処遇改善評価料）を原資に看護師について、上記手当の支給額を10,000円（その他コメディカルは引き続き3,000円）とした。	R4
18	患者様	患者満足度調査	患者様の視点から見た病院運営の在り方について活用できると思われます。	アンケート結果については病院内会議に報告するとともに、外来待ち時間の短縮、施設や設備の充実、接遇等、改善に向けた対応策を検討していきます。また、アンケート結果は病院内会議で報告し職員に周知するとともに、病院HPにて公開します。	・今年度は、①病室でも利用できる患者用Wi-Fi設備を設置した。 ・さらに、②令和5年2月27日から外来患者呼出しシステムを導入する。呼び出しの際にはプライバシーを尊重するため番号で案内することで個人情報保護の観点からも患者サービスの充実をはかった。	R4

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R5.3.31）	改善年度
3	授業履修者	授業評価アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 対面授業を増やしてほしい 人と会う機会を作ってほしい 	<p>令和3年度の授業では講義室の定員を50%以下にするなど、感染症対策を実施したうえで、対面授業をより多く実施できるよう取り組みました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら実施することができなかった令和2年度入学式を令和3年4月2日に開催しました。</p>	<p>令和4年度前学期は定員を70%以下にし、同後学期途中から定員は100%まで収容できるよう更新したことで対面授業、人と会う機会は増加している。以上によりご意見への対応は完了した。</p>	R4
4	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ラーニング・ポートフォリオの入力が手間、大変 	<p>令和3年11月より、教務システム（Livecampus）においてラーニング・ポートフォリオを記入できるようになりました。学生の皆さんが普段から使い慣れている同システムで入力ができ、複数のシステムをまたぐことなく1つのシステムで完結できるようになりました。</p> <p>また、ラーニング・ポートフォリオの他に、学生の皆さんの学習状況や成果をより分かりやすくするためのツールとして、それらを数値やグラフで分析・可視化する Learning Analytics Platform システム（通称 LAP システム）の運用も始まりました。</p> <p>ラーニング・ポートフォリオは「自らの学習活動について振り返り、自らの言葉で記し、様々な根拠資料によってこれらの記述を裏付けた学習実践について厳選された記録」であり、LAPはこれらを記録にするにあたり、学習状況や成果を数値やグラフといった分かりやすい形式で分析・可視化してくれるため客観的な自己評価に役立ちます。</p> <p>学生の皆さんにはラーニング・ポートフォリオの作成や LAP の活用を通して、自身の成長と強みを把握して、キャリアビジョンを明確にしながら人生を豊かなものにして頂きたいと思えます。</p>	<p>システムへのアクセスの利便性と振り返りに使える情報を提供する機能の追加で入力の手間感を下げることができると判断した。また、ラーニングポートフォリオの入力による自己の学修の振り返りの重要性について改めて周知する必要があると判断した。</p> <p>左記のとおりLiveCampusへのシステム移行とLAPシステムの追加により手間感を下げ、また、左記内容の周知を行ったことによりご意見への対応は完了した。</p>	R3
5	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場の改善 駐輪場を増やしてほしい 	<p>歩行者がより安全に学内を歩けるようにするため、また自転車ですムーズに学内を移動できるようにするため、令和3年度に学内自転車道の整備を行っています。</p> <p>学内自転車道は本庄キャンパス南東部外周を囲うように整備し、また、併せて駐輪場約1,000台分を整備予定です。この整備により、朝や昼休みの時間などの自転車の混雑や駐輪場の不足が解消できる見込みです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 左記の通り本庄キャンパスにおける駐輪場の増加と学内自転車道が整備され、ご意見への対応は完了した。（実施例：教養教育1号館と2号館の間の駐輪場については、白線を追加で引くことで駐輪スペースを増やした。） 令和3年度に以下の駐輪場増設整備を行いました。（本庄キャンパス） 屋根付き：347台 屋根無し：733台 計：1,080台 	R3
6	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 災害等時の連絡（授業の開講等）を早めにしてほしい 休講のときは早めに連絡してほしい。 	<p>令和3年度に気象警報発令時における授業等の取扱いに関する要項を改正し、これまで休講の判断基準としていた気象台による気象警報の他に、市町村が発令する避難情報を新たに加え、災害時等にはより迅速で丁寧な判断ができるようにしました。</p> <p>引き続き佐賀大学では、大雨や台風などの自然災害が近づいているときには、本学ホームページやメールなどによって判断基準等を早めに示すなど、学生の皆さんの安全を守るよう情報を発信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 左記の通り休講の判断基準を見直し、より迅速で丁寧な判断ができるようにしたことで、ご意見への対応は完了した。 	R3
7	2013～2015年度に入学し、2016～2018年度に卒業した卒業生	卒業生・修了生アンケート	<p>教養教育の役割と重要性について</p>	<p>全学教育機構の再構築について検討を開始しました。</p> <p>カリキュラムについては、令和5年度実施を目指し改革案を検討しています。</p> <p>また、組織については、令和4年度から順次改組できるよう検討を進めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、基本教養科目を新たに7科目開設しました。更に、インターフェース科目で3つのプログラムを見直し、新たに2つのプログラムを開設しました。 組織については、令和5年4月から新たな体制で運営できるよう、検討を進めています。 	R4
8	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画	<p>オンラインでの授業開放の可能性</p>	<p>令和2年度後学期については、オンラインでのみ授業開放を実施しました。</p> <p>令和3年度については、オンラインでのみ開講する科目、対面でのみ開講する科目、オンラインと対面の両方で開講する科目で授業開放を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度については、すべての回をオンラインで受講できる科目を前期9科目、後期9科目用意した。 	R4

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R5.3.31）	改善年度
5	授業開放受講者（一般市民）	2019後学期佐賀大学授業開放受講者アンケート	教養科目から継続して学べるような専門科目も開放してほしい。	2020年前学期からは、各学部から選出された専門科目を開放し、開放科目の充実を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催中止となりました。2020年後学期はオンラインのみで科目数を絞って実施しました。2021年前学期からは、コロナ対策を十分に講じた上で、各学部から選出された専門科目を開放し、開放科目の充実を図る予定です。	<ul style="list-style-type: none"> 専門教育科目の開放科目も増えてきており、前学期21科目、後学期24科目開放した。令和4年度からは看護師免許を持った方を対象とした医学部看護学科の科目を開放し始めた。 専門教育科目については、リカレント教育の側面もあり、就業しながら受講している受講者が多く見受けられた。 	R4
7	学生	2019年度学生生活実態調査票学部生・大学院生へのアンケート実施	構内の駐車場（自動車）の充足状況について不足しているとの意見が約7割近くある。（R2.2.26現在）	本庄キャンパスでは、学内幹線道路等整備を行い、令和4年1月に供用を開始しました。自動車道・駐車場の整備として、学内幹線道路（ラクウショウ並木道）の自動車進入禁止に伴い、芸術地域デザイン学部西側の南北河川沿いに自動車道を整備し、歩車道分離を推進しました。また、駐車場及び駐輪場を新設しました。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に以下の駐輪場増設整備を行いました。（本庄キャンパス） 屋根付き：347台 屋根無し：733台 計：1,080台 	R3
8	県内企業採用担当者	県内企業と佐賀大学との交流会	学生とのフリートーク会といった、学生と直接話ができる機会がほしい。	新型コロナウイルスの感染拡大によって、交流イベントは実施できませんでした。学生向けに企画しているWebラジオ「キャリアラジ」に、県内企業の方を招待し、学生の質問等と一緒に答えていただく機会を設けました。次年度以降は、状況に応じて対面イベントを企画するとともに、Webでのイベントも並行して実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度はキャリアアクセラレーションプログラムにおいてサガHR交流会参加の企業による、学生を対象とした質問・相談会を3回実施した。 また他のキャリアアクセラレーションプログラムにおいても、県内企業に限らないが、企業からの申し込みにより、学生とのイベントを実施している。 	R4
10	佐賀大学経済学部卒業生	佐賀大学経済学部卒業生アンケート2019	経済学部の改組（2013年）以前と以後の学習環境に関する要望等	アンケートを集計し、改組前後の満足度を比較した結果、改組後の満足度が高いことが確認できました。今後、認証評価の資料として公開される予定です。要望があった学部棟の老朽化については、予算に応じた建物改修と施設整備を進めています。	<ul style="list-style-type: none"> 経済学部では、1号館から4号館を学部棟として利用していますが、平成25（2013）年度に1号館、令和元（2019）年度に2・3号館、令和4（2022）年度に4号館の建物改修を以て、全棟改修が終了しました。 令和4年度に老朽化した経済学部4号館を改修（令和5年3月竣工）しました。これにより、経済学部は全ての施設の改修が完了しました。 	R4

整理 番号	ご意見をいただいた ステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R5.3.31）	改善 年度
2	来てみんしゃい佐賀大学 へ 企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」 企画 （逢いに来んしゃい！佐賀大学 の「宝」の数々に一小城鍋島家 のコレクションをわかりやすく ご紹介しますー）	・「公開講座」の充実をお願いします。ドイツ語 公開講座の復活をお願いします。	・「公開講座」のドイツ語については、希望があるため再開を 検討中です。	・ドイツ語の公開講座開催について検討し、令和 5年度の授業開放科目にドイツ語関係の科目を3 科目新たに追加した。	R4